

海事女性の勧め ー海外からこんにちは！ー

留学中の在学生

守屋有紗

海事科学部グローバル輸送科学科 ロジスティクスコース 4年
カレル大学（チェコ共和国）留学中

私は、内容を理解した上で自分の専門分野を選びたいと考え、大学入学の1年後にコースを決められる海事科学部に入学しました。様々な授業を取る中で、経済系の内容に興味を持ち、現在はロジスティクスコースで海運経済を勉強しています。

学業以外の面でも、海事科学部にはいろいろな魅力があります。私は、オフショアセーリング部に所属し、キャンパス内のヨットで練習を重ねました。その結果、4年生の時にはフランスで行われた世界大会で優勝という成績を収めることができました。また、学内外のプログラム参加や知人への訪問等によって、これまで合計16か国で海外生活を経験してきました。

そうした海外での経験の中のひとつに海事科学部の派遣プログラムがあります。海事科学部からの派遣生に選んでいただき、4年生の夏にオーストラリアでの研修プログラムに参加しました。ホームステイや学校での授業、スタディートリップ等を通して、オーストラリアの自然の豊かさを知り、そこに住む人々が自然とどのように関わり、共生しているのかを深く学ぶことができました。

現在は、一年間の交換留学生として神戸大学の協定校であるチェコのカレル大学に留学中です。チェコは日本とは異なる内陸国なので輸送や貿易も日本とは異なる環境にあり、ここでの勉強から両国の相違を知ることができます。また、チェコのプラハは街並みが驚くほど綺麗で、夢の国で生活しているようです。もちろん、日本との文化や環境の違いに日々戸惑いの連続ですが、この海外生活を乗り越えることは必ず貴重な経験になると信じて、前向きに取り組んでいます。

そして、将来は、大学で学んだ経験を活かして、国際的に活躍できる女性になりたいと考えています。

海事科学部には女性が少ないですが、様々な場面で挑戦している人が多く、一人ひとりから刺激を受けています。また、この分野で学んでいる女性が少ない分、貴重な人材になることができるとも感じています。理系はもちろん経済や法学などの文系の専門科目を選ぶことができ、大学入学後の選択肢が広いため、今進路を迷っている高校生には、自信を持っておすすめしたい学部です。



フランスの学生ヨットセール大会で優勝した隊の写真です。
2017年大会はマルセイユで開催され、
世界各国の代表チーム2
天に9日間競いました。



プラハの街が一望できる
プラハ城からの景色。
大学の裏から徒歩15分で
お気に入りの場所の一つです。



海外で勤務している卒業生

川勝勝麻由 イギリス駐在中 Kawasaki Heavy Industries (UK) Ltd.

2011年 海事科学研究科修了 川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー 技術本部 基本設計部より出向

私は、現在、ロンドンにある事務所を拠点に、欧州地区における新造船の営業活動と技術開発のための情報収集に従事しています。顧客やメーカーの人々と情報交換をするという、ロンドンに駐在するまで日本で行っていた設計業務とは異なる業務ではありますが、日々刺激を受けながら取り組んでいます。海事科学部では、船に関する幅広い知識を、講義や研究活動だけでなく、乗船実習という生きた教材を通じて学ぶことができます。単なる知識の習得に留まらず、問題が起きた際の対応、チームワークを活用した問題解決、課題へのアプローチの仕方について総合的に身に付けることができ、現在の私の仕事で大いに役立っています。

さらに、海事科学部では人の繋がりを非常に大切にしています。教授と学生との距離が近いため、在学中は研究課題に関するアドバイスだけではなく、進路や将来についても親身になってアドバイスをしていただきました。

卒業後も近況報告をしたり、業界の情報交換をしたりと、学生時代に築いた良い関係を継続できています。また、卒業生は世界中で活躍しており、ロンドンでも公私を問わず卒業生との交流があります。同じ業界で世界中どこにでも仲間がいるというのは、心強いだけではなく刺激にもなっています。

海事科学部で培った人間関係は、私が海事科学部で得た経験とともに、非常に大きな財産となっています。



ロンドンのビッグ Benスリー、
シティにある歴史的建物。
歴史的な建物ですが、
近隣には近代的なビルが
立ち並んでおり、新旧の融合を見ることができます。



シンガポールの夜景です。
仕事終わりは夜景を眺めながら
夕食をすることしばしば。

施設・設備



総合水槽

実験棟内に、浅水槽（曳航水槽）、回流水槽、アンカーウォーターワークなどに準備室などが設けられており、船舶に関する流体力現象の把握をはじめとする教育、研究に供されています。



タンデム静電加速器

加速器・粒子線実験施設は原子・原子核工学を含む環境・エネルギー科学分野の教育・研究を目的としています。



極低温実験棟

海洋再生可能エネルギーの有効利用を実現するために、極低温・超伝導・強磁場実験を行っています。



船舶運航シミュレーションシステム

操縦・運航を模擬するナビゲーションシミュレーターと、機関プラントを模擬する船用機関プラントシミュレータから成り、相互の連携が図れるようになっています。



大型外洋ヨット（クライナーベルク）

全長13.5m。荒海も超えて、世界中を航行することができます。



海事博物館

教育と研究の参考に資するとともに、海事の啓発を目的として設立、内外の貴重な海事資料を幅広く収集し展示しています。